



1. 令和2年度SDGsに関する万国津梁会議経過

- 令和2年7月3日 第1回会議
- 令和2年7月21日 第2回会議
- 令和2年8月17日 第3回会議
- 令和2年8月26日 第4回会議
- 令和2年8月26日 第1回ステークホルダー会議
- 令和2年9月7日 知事へ中間報告(2)
- 令和2年9月28日 第5回会議
- 令和2年10月29日 第2回ステークホルダー会議
- 令和2年11月13日 第6回会議
- 令和2年12月11日 第7回会議
- 令和3年1月8日 知事へ最終報告



2. 委員名簿(五十音順)

- 蟹江 憲史(慶応義塾大学大学院政策・メディア研究科 教授)
- 佐喜真 裕(沖縄銀行 執行役員総合企画部長)
- 佐野 景子(国際協力機構沖縄センター 所長)
- 島袋 純(琉球大学 教育学部 教授)
- 玉城 直美(沖縄キリスト教学院大学  
英語コミュニケーション学科 准教授)
- 平本督太郎(金沢工業大学情報フロンティア学部経営情報学科  
准教授 SDGs推進センター長)

3. 最終報告の概要

(1) 沖縄におけるSDGs推進の意義

行政機関が計画し実施する事業等にとどまらず、ビジネスや市民社会を担う県民一人ひとりが、意識して行動することが求められる。

(2) 沖縄におけるSDGs推進のフレームワーク

戦略文書にあたる実施指針を策定し、さらにアクションプラン(優先課題及びSDGsゴールに対応した具体的な目標と達成度を測るモニタリング指標を設定する)を策定することとする。

### (3) 沖縄らしいSDGs

#### 【基本理念】

平和を求めて時代を切り拓き、世界と交流し、ともに支え合い誰一人取り残さない、持続可能な「美ら島」おきなわの実現

①性の多様性（LGBT等）、障がいの有無、国籍など、互いの違いを認め合い、一人ひとりが大切にされ、あらゆる場所で活躍できる社会の実現（多様性の尊重、個人の尊厳）



将来像  
Ⅱ

将来像  
Ⅴ

②医療・福祉の充実、健康長寿と生きがい、子どもを貧困から守る子育てしやすい暮らし



将来像  
Ⅱ

③地域への誇り（しまくとぅばの普及・推進等）と夢・目標をもてる学びの確保、教育の充実



将来像  
Ⅴ

④基幹産業として持続可能で責任ある観光（サステナブル／レスポンスブルツーリズム）の推進、観光との連携・相乗効果等も活用した産業振興（農林水産業におけるブランド化等）、県経済の基盤となる安定的な雇用



将来像  
Ⅲ

将来像  
Ⅴ

⑤日本とアジア・太平洋の架け橋となる物流・情報・金融の拠点



将来像  
Ⅲ

⑥気候変動に適応する強靱なインフラと交通網の整備



将来像  
Ⅰ

将来像  
Ⅲ

⑦多様な生物・生態系や自然遺産を含む自然に囲まれた環境の保全、エコアイランドの実現、自然と調和したライフスタイル



将来像  
Ⅰ

⑧基地から派生する諸問題の解決の促進、平和を希求する沖縄として世界平和への貢献・発信



将来像  
Ⅱ

将来像  
Ⅳ

⑨共助・共創型の安全・安心な社会の実現



将来像  
Ⅱ

⑩ユイマール（相互扶助）の継承、人の和・地域の和



将来像  
Ⅰ

将来像  
Ⅱ

⑪地域・世代・分野・文化等を超えた多様な交流と連携の創出



将来像  
Ⅳ

⑫世界の島しょ地域における技術・経験の共有と国際貢献・グローバル・パートナーシップ



将来像  
Ⅳ

#### (4) SDGsの推進体制

